

令和 7 年度当初予算（案）の概要

福 祉 労 働 部

目 次

1. 予算概要

令和7年度当初予算(案)総括表

2. 令和7年度当初予算（案）における主要事業の概要

- (1) 中高生と乳幼児のふれあい体験支援費、気軽に出会える「福岡ふらっとカフェ」開催費（こども未来課）
- (2) 妊産婦こころの健康向上支援費（子育て支援課）
- (3) よかパパ育休応援費（労働政策課・子育て支援課）
- (4) 第3子以降保育料無償化事業費（子育て支援課）
- (5) 保育の職場環境改善支援費、保育所等ワンヘルス教育推進費（子育て支援費）
- (6) 5歳児健康診査実施支援費（子育て支援課）
- (7) 放課後児童クラブ支援強化費（こども未来課）
- (8) 就職氷河期世代就職支援強化費（就業支援課・職業能力開発課）
- (9) 生涯現役活躍応援費（就業支援課）
- (10) 県内技術系企業の人材確保支援費（就業支援課）
- (11) 障がい者IT業務共同受注拡大費、障がい者雇用開拓費（障がい福祉課・就業支援課）
- (12) 障がいのある人への合理的配慮推進費（障がい福祉課）
- (13) 地域児童発達支援センター設置支援費（障がい福祉課）
- (14) ヤングケアラーほっとサロン開設費（こども未来課）
- (15) 生活保護世帯のこどもの進路選択アウトリーチ支援費（保護・援護課）
- (16) こども若者シェルター設置費（こども福祉課）

令和7年度当初予算(案)総括表

1 一般会計

(単位: 千円)

款 名	項 名	令和7年度 当初予算額 (A)	令和6年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B)	A/B (%)
5款 生活労働費	2項 福祉企画費	5,984,653	5,173,928	810,725	115.7%
	3項 児童家庭費	76,924,561	67,334,446	9,590,115	114.2%
	4項 障がい者福祉費	65,201,196	60,100,832	5,100,364	108.5%
	5項 生活保護費	33,039,866	32,525,515	514,351	101.6%
	6項 社会福祉費	12,533,154	11,636,408	896,746	107.7%
	7項 労働企画費	1,489,332	1,878,397	△ 389,065	79.3%
	8項 職業訓練費	6,251,987	4,331,524	1,920,463	144.3%
	9項 失業対策費	357,369	368,247	△ 10,878	97.0%
計		201,782,118	183,349,297	18,432,821	110.1%

2 特別会計

会 計 名	令和7年度 当初予算額 (A)	令和6年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B)	A/B (%)
災害救助基金特別会計	7,510	722	6,788	1040.2%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	265,906	433,715	△ 167,809	61.3%
計	273,416	434,437	△ 161,021	62.9%

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事業の概要
	款	項	目					
こども未来課	5	3	1	新規	中高生と乳幼児 のふれあい体験 支援費	13,051 (4,351)	0 (0)	1. 目的 こどもを産み育てることや家族を持つことを思い学ぶため、中高生の「乳幼児とふれあう機会」の増加を図る。
					気軽に出会える 「福岡ふらっとカ フェ」開催費	10,477 (3,493)	0 (0)	2. 事業内容 乳幼児ふれあい体験に取り組む学校と保育所等のマッチング支援 13,051 ① マッチング専用サイトの構築 〔内 容〕 ・学校の実施希望内容の登録 ・保育所等の協力できる内容の登録 ② 専用サイトを活用したマッチング等 〔内 容〕 ・コーディネーターによる学校と保育所等の日程調整、実施方法の助言 ・ふれあい体験実践動画、マニュアルの学校への配布
								1. 目的 若者が気軽に興味を持って参加できる出会いの場の創出により、結婚したい若者の希望の実現につなげる。
								2. 事業内容 出会い・結婚応援の強化 10,477 ① 気軽な出会いの場「福岡ふらっとカフェ」の開催 〔内 容〕 趣味等をテーマとしたフリートーク交流会を実施 〔対 象 者〕 コミュニティ登録者、出会い応援団体の従業員 〔実施回数〕 県内4地域×8回 ② AIマッチングを行う「ふくこいコミュニティ」の利用拡大 〔内 容〕 ・利用登録申請のオンライン化 ・趣味、嗜好を知るためのアンケート機能の追加

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事業の概要
	款	項	目					
子育て支援課	5	3	5	新規	妊産婦こころの健康 向上支援費	9,715 (4,858)	0 (0)	1. 目的 妊産婦が、地域において適切な精神科医療を受けられる体制を整備することにより、乳幼児虐待予防を図るとともに、母子の健やかな生活を支援する。 2. 事業内容 妊産婦メンタルヘルスケア拠点病院の設置 9,715 [委 託 先] 精神科を有する病院 (4か所：北九州・福岡・筑後・筑豊) ① 拠点病院にコーディネーター配置 [業務内容] ・市町村や産婦人科等からの妊産婦の精神症状に関する相談 ・妊産婦に対応できる精神科との受診調整 ② 精神科医療機関向け研修会開催 [研修内容] ・妊産婦精神疾患の特徴 ・診察、治療、服薬の留意点 など ③ 医療機関ネットワーク構築会議の開催 [構 成 員] 医療機関(精神科、産婦人科、小児科)、市町村、県保健所 [会議内容] ・連携体制のあり方検討 ・メンタルヘルスに不調を抱えた妊産婦の対応状況の共有
【事業スキーム】 妊産婦メンタルヘルスケア拠点病院 (県内4拠点:福岡・筑後・筑豊・北九州地域) 妊産婦メンタルヘルスケアコーディネーター ③受診調整 精神科 ②相談 ③受診調整 市町村 産婦人科・小児科・ 助産師等 ⑤受診 ①面談・受診 ④精神科紹介 メンタルヘルスに 不調のある妊産婦								

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額	事業の概要
	款	項	目					
労働政策課 子育て支援課	5 5	7 3	3 1	新規	よかパパ育休 応援費	68,782 (9,271)	0 (0)	1. 目的 男女ともに仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めるため、男性の育児休業取得を推進するとともに、積極的な育児参加を応援する。 2. 事業内容 (1)よかパパ育休助成金の創設55,540 中小企業の一般事業主行動計画の策定に係る費用を助成 [補助対象] 常時雇用労働者 100 人以下の企業(500 社) [補 助 額] 10 万円(定額) [実施期間] 3年間(令和7年度～9年度) (2)育児休業等の制度運用のための研修会の開催5,299 [対 象] 中小企業の人事労務責任者 [内 容] 業務マネジメントや安心して育休制度を利用できる職場環境づくりに関する研修を実施 [回 数] 県内4地域×2～3回 (3)パパ向け育児・家事手帳「パパノートブック」の作成・配布6,322 [掲載内容] ・妊娠～出産までのママの変化とパパにできること ・パパの家事・育児術と実践例 など [配布方法] ・市町村が母子健康手帳配布と同時に冊子を配布 ・デジタル版を作成し、県HPに掲載(県だよりで周知) (4)パパ専用子育て相談窓口の設置1,621 [相談内容] 男性の公認心理師等が育児に関する不安や悩みに対応 [相 談 日] 月曜日 18 時から 21 時
【100人以下の企業を対象とする理由】 ・次世代育成支援対策推進法により 100 人以下の企業は一般事業主行動計画の策定は努力義務 ・一般事業主行動計画は両立支援等助成金の支給要件 ※一般事業主行動計画とは 企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備等に取り組む内容をまとめた計画								
【よかパパ育休助成金の補助要件】 ・男性の育児休業取得率の目標を 100%に設定していること ・男性の育児休業取得期間を 2 週間以上に設定していること ・「子育て応援宣言企業」に登録していること など								

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
子育て支援課	5	3	2	新規	第3子以降保育料 無償化事業費	534,089 (0)	0 (0)	1. 目的 多子世帯の経済的負担の大きさや、3人以上の子育て世帯が特に減少していることを踏まえ、第3子以降の保育料を無償化し、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを推進する。 2. 事業内容 第3子以降の保育料を無償化534,089 所得や第1子の年齢制限のない第3子以降の無償化に取り組む市町村に対する県独自の補助制度を創設 [対 象] 全市町村 [対象施設] 保育所、認定こども園、地域型保育事業所、届出保育施設(国の設備運営基準適合施設のみ) [年齢制限] 第1子の年齢に関係なく第3子以降の全てのこどもの保育料を無償化 [所得制限] 世帯の収入に関係なく全世帯対象 [補 助 率] 1/2 [実施時期] 令和7年9月から実施

【国の制度概要と県独自補助の関係】

※2歳以下の保育料を、第1子 40,000 円、第2子(半額)20,000 とした場合

国制度の場合						県独自補助の場合					
①第1子～第3子が2歳以下			②第1子が小学生 第2子・第3子が2歳以下			③第1子・第2子が小学生 第3子が2歳以下			第3子以降を無償化		
左表②の場合			左表③の場合			左表②の場合			左表③の場合		
小学生～ (対象外)			第1子			第1子			第1子		
5歳(年長)											
4歳(年中)											
3歳(年少)											
2歳	第1子	40,000円									
1歳	第2子	20,000円	第2子 (第1子扱い)	40,000円				第2子 (第1子扱い)	40,000円		
0歳	第3子	0円	第3子 (第2子扱い)	20,000円	第3子 (第1子扱い)	40,000円		第3子 (無償化)	0円	第3子 (無償化)	0円
保育料 計		60,000円		60,000円		40,000円			40,000円		0円
第1子:全額、第2子:半額、第3子以降:無償											

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
子育て支援課	5	3	1	新規	保育の職場環境 改善支援費	8,128 (4,064)	0 (0)	1. 目的 保育士の離職防止や職場復帰を進めるため、保育所が行う職場環境改善に向けた取組みを支援し、働きやすい職場づくりを実現することで、保育人材の確保を強化する。 2. 事業内容 働きやすい職場づくり巡回アドバイザーの派遣 8,128 [支援内容] ・パワハラ防止のためのガイドライン作成 ・持ち帰り残業をなくすための勤務体制構築 ・潜在保育士の復帰のための「ほいく福岡」への魅力的な求人情報の掲載を支援 など
					保育所等 ワンヘルス教育 推進費	5,416 (5,416)	0 (0)	1. 目的 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期からワンヘルス教育の取組を進め、人と動物の健康、環境の健全性を一体的に守る心を育てる考え方を幼児教育に広げていく。 2. 事業内容 (1)啓発用絵本の作成 4,441 [委 託 先] 県獣医師会 [配 布 先] 保育所、認定こども園、届出保育施設の全クラス (2)指導者セミナーの実施 975 [対 象 者] 保育所等の園長、主任保育士等 [内 容] ・ワンヘルスの基本理念 ・ワンヘルス教育の必要性や実践事例 [開催方法] 集合型及びオンライン型によるハイブリッド研修

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
子育て支援課	5	3	5	新規	5歳児健康診査 実施支援費	2,323 (1,161)	0 (0)	1. 目的 発達障がいを早期発見し、円滑に療育支援に繋げるため、市町村が行う、5歳児健康診査の実施を支援する。 2. 事業内容 (1)5歳児健康診査の実施推進 2,323 ① 小児科医の派遣体制構築にかかる会議の開催 [構 成 員] 医師会、小児科医会、大学病院小児科医、県、市町村 [検討内容] 市町村管外や大学病院からの小児科医派遣制度の構築 ② 5歳児健診実施可能医師確保のための研修会 [対 象 者] 小児科医 [研修内容] 5歳児健康診査の診るべきポイント ・運動機能異常(片足立ち、指の細かな動き等) ・多動・不注意・仲間関係での問題のとりえ方 [開催場所] 県内4地域(各地区 50 名)

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
こども未来課	5	3	3	新規	放課後児童クラブ 支援強化費	15, 259 (3,230)	0 (0)	1. 目的 放課後児童クラブの登録児童数が増加している中、放課後児童支援員の確保を図るとともに、配慮を必要とする児童への関わり方を助言し、児童への支援を強化する。 2. 事業内容 (1)放課後児童支援員の確保 11, 221 ① 就職支援コーディネーターの配置 [支援内容] 就職あっせん、職場見学案内、求人情報提供 [配置場所] 保育士・保育所支援センター ② マッチングシステムの構築 [内 容] クラブの求人情報と放課後児童支援員の求職情報を登録 ③ クラブの魅力発信動画の制作・配信 [P R 内容] クラブの魅力、現場で働く支援員の声・やりがい、 処遇改善の状況、就職マッチング支援 [広報媒体] SNS、Youtube、県 HP (2)配慮を必要とする児童への支援巡回アドバイザーの派遣 4,038 [派遣職種] 臨床心理士、保健師、支援員経験者等 [支援内容] 落ち着きがない、コミュニケーションが苦手、発達の遅れがある等の児童への支援方法を助言

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
就業支援課 職業能力開発課	5 5	7 8	1 2	新規	就職氷河期世代 就職支援強化費	12,373 (3,724)	0 (0)	1. 目的 バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行ったため、今もなお、不本意ながら不安定な仕事に就いているなどの課題に直面している就職氷河期世代の正社員への就労を支援する。 2. 事業内容 (1)職業体験つき合同会社説明会の実施 11,533 [開催内容] ・求人が多い建設、介護、保安、農業などの職業体験ブースを設置 ・希望職種に関連する資格や職業訓練の情報提供 [開催場所] 県内4地域(北九州、福岡、筑後、筑豊) (2)企業の人材ニーズに応じた新たなスキル習得支援 840 [実施内容] 高等技術専門校において、オーダーメイドによる最先端技術の訓練等を実施するためのカリキュラム作成

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事業の概要
	款	項	目					
就業支援課	5	9	1	新規	生涯現役活躍 応援費	18,222 (18,222)	0 (0)	1. 目的 高齢者が意思と能力に応じて生涯現役で働き続けられる環境整備を推進する。 2. 事業内容 (1) 70歳以上まで働ける制度導入企業の拡大 6,267 [内 容] 高齢者雇用を踏まえた賃金規定や勤務形態の設定方法などを学ぶ「シニア人材活用セミナー」及び個別相談会の開催 [対 象 者] 企業経営者・人事労務責任者 [開催場所] 県内4地域(北九州、福岡、筑後、筑豊) [委 託 先] 生涯現役チャレンジセンター (2) セカンドキャリアへの円滑な移行を支援 11,955 ① 定年後のセカンドキャリアを目指す人のための研修動画の制作・配信 [研修項目] ・高齢者雇用の求人市場、進路決定が速い人の特徴 ・資格取得や経験を活かしたセカンドキャリアの事例 など ② セカンドキャリアに向けた具体的取組に係る個別相談の実施 [内 容] 相談者のキャリアの棚卸や目標設定、実現方策への助言 [開催場所] 県内4か所の生涯現役チャレンジセンターで月1回程度

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
就業支援課	5	7	1	新規	県内技術系企業の人材確保支援費	4,226 (4,226)	0 (0)	1. 目的 福岡県若者就職支援センターにおいて、技術系企業の魅力発信から、インターンシップの実施、フォローアップまでを伴走支援し、より確実な人材確保を図る。 2. 事業内容 県内技術系企業の魅力発信・就職支援 4,226 (1) 学生・求職者向け企業PRの実施 [内 容]・企業の業務内容、福利厚生、先輩社員の声 [実施時期] インターンシップの1か月前 (2) インターンシップの実施 [実施期間] 1社5日間 [対 象] 企業 : 技術系企業 参加者: 県内外の学生及び概ね39歳までの求職者 (3) インターンシップ参加企業に対する支援 [方 法] アドバイザー(中小企業診断士)を派遣 [支援内容]・学生・求職者の興味を引くPR資料作成への助言 ・インターンシッププログラム構築への助言 ※ 学生等の就職に向けたフォローアップは、福岡県若者就職支援センター相談員が対応

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
障がい福祉課	5	4	4	新規	障がい者IT業務 共同受注拡大費	47,793 (33,897)	0 (0)	1. 目的 障がいのある人の収入向上を図るため、高単価な IT 業務の共同受注体制を強化する。 2. 事業内容 (1) IT 業務受注拡大のための企業開拓 20,540 [実施内容] ・企業に対する訪問営業、商談会の開催等 (2) 事業所の IT 業務対応マニュアル作成 7,253 [実施内容] ・障がい者施設利用者の作業用マニュアル作成 ・マニュアルを活用した個別研修の実施 (3) 共同でIT業務を行うための作業所整備費を助成 20,000 [実施主体] 社会福祉法人、NPO 法人、民間企業 [対象経費] パソコン等備品、工事費等施設整備経費 [補 助 率] 1/2 [補助上限] 1,000 万円
就業支援課	5	9	1	継続	障がい者雇用 開拓費	15,047 (15,047)	6,448 (6,448)	1. 目的 障がいのある人が希望に応じた就労ができるよう受け皿となる企業の開拓を行う。 2. 事業内容 障がいのある人を雇用していない企業に対するコンサルティングを実施 [実施体制] コンサルタント3名 [支援企業数] 270 社

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
障がい福祉課	5	4	1	新規	障がいのある人への 合理的配慮推進費	8,024 (8,024)	0 (0)	1. 目的 外見から障がいのあることが分かりにくい人への合理的配慮の理解を推進するとともに、手話通訳者を目指す方への資格取得支援を強化する。 2. 事業内容 (1)啓発動画の制作・発信 4,176 [内 容] ・外見から障がいのあることが分かりにくい人が困る 場面とその対応方法 ・障がいのある人が合理的配慮の申出をしやすい ヘルプマークの活用方法 [活用方法] 企業の社員研修や学校の総合的な学習等での視聴 (2)手話通訳者全国統一試験対策演習の実施 3,848 手話通訳者の資格取得を支援するため、模擬試験形式による 実技演習を実施 [委 託 先] 福岡県手話の会連合会 [内 容] 模擬試験形式による実技演習の実施(全10回) [実施場所] 県内3か所

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要							
	款	項	目												
障がい福祉課	5	4	1	新規	地域児童発達 支援センター 設置支援費	9,449 (0)	0 (0)	1. 目的 発達障がいのあるこどもを円滑に療育支援につなぐため、地域の障がい児の発達支援において中核的な役割を担う児童発達支援センターの設置を推進する。 2. 事業内容 「地域支援体制整備サポート職員」の配置9,449 [配置場所] 県発達障がい者支援センター(福岡、筑後、筑豊) [配置人員] 各1名 [資 格] 社会福祉士 [支援内容] ・児童発達支援センター未設置市町村や地域の事業者に対する設置の働きかけ ・実際の設置、運営に向けた助言 ・近隣市町村との共同設置に向けた調整							
									【児童発達支援センターの機能】 ・幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能 ・地域の障がい児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能 ・保育所等で行われる障がいのあるこどもへの支援に関する助言 ・地域の障がいのあるこどもの発達支援の入り口としての相談機能						
									【県発達障がい者支援センター】 発達障がい者（全年齢）への支援を総合的に行うことを目的とした専門的機関。 保健、医療、福祉、教育、労働等の関係機関と連携し、地域の総合的な支援ネットワークを構築しながら、発達障がい者とその家族からの様々な相談に応じる。						

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
こども未来課	5	3	1	新規	ヤングケアラー ほっとサロン 開設費	4,013 (1,338)	0 (0)	1. 目的 ヤングケアラーを対象としたピアサポートを実施することにより、進学や就職等に関する心配事やケアの心理的負担を軽減する。 2. 事業内容 「ヤングケアラーほっとサロン」の開設 4,013 引きこもり等による長期無業者の就職支援のための仮想空間「ふくおかバーチャルさぽーと ROOM」にオンラインサロンを設置 [支援内容] ・元ヤングケアラーが勉強や進路、友人関係などの悩みを傾聴 ・社会福祉士等がヤングケアラーの悩みに応じて、市町村が行う家事支援等へのつなぎを行う。 [対 象 者] 県内の高校生以上のヤングケアラー [開催頻度] 毎月第4土曜日 19～21 時
【ピアサポート】 同じような経験がある人（ピア＝仲間）同士の支えあい								

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
保護・援護課	5	5	1	新規	生活保護世帯の こどもの進路選択 アウトリーチ支援費	14, 236 (4, 746)	0 (0)	1. 目的 生活保護受給中の子育て世帯に対し、こどもが自分の希望を踏まえた多様な進路選択ができるよう支援する。 2. 事業内容 教員経験者などの相談員によるこどもの進路選択支援 14,236 [支援内容] ① 各世帯の学習環境・進路選択における課題の把握 ② 進路選択に必要な情報の収集・提供、アドバイス ③ 学習支援等につなげるための関係機関との連絡調整 [支援対象] 小学1年生～高校3年生(高校中退者を含む)のこどもがいる世帯 [配置場所] 県保健福祉(環境)事務所 [配置人員] 5名

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位:千円)

課(室)名	科 目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	事業の概要
	款	項	目					
こども福祉課	5	3	1	新規	こども若者シェルター 設置費	49,954 (24,977)	0 (0)	1. 目的 虐待や貧困からこども・若者を守るため、緊急的に安心して避難できる場所を確保する。 2. 事業内容 こども若者シェルターの設置 49,954 [委 託 先] NPO 法人、社会福祉法人等 [内 容] ・支援員が常駐する居場所の提供 ・こども・若者が規則的な生活ができるための支援、就労・就学支援、心理支援 [設置場所] 福岡地域 (女性・男性向け各 1 か所(各定員 6 名))